平成23年度 学校支援の実践例



テーマ Theme

学校·图名 School name

講師等 Lecturer etc.

実施日

教科等 Subject etc. 「流れる水のはたらき、水生生物の 観察」

高島市立新旭北小学校(5年生)

滋賀大学「環境学習支援士」会

平成 23 年 10 月 4 日

理科、総合的な学習の時間

授業 Class 川での観察に先だって、江賀谷の源流部を途中まで辿りました。その後、浅瀬に戻り、講師の方の指導の下、3つの班に分かれて、水の調査、タモ網による魚類の採取、水中生物の観察を交替で行いました。水の調査では水温、流速、透明度の他、電気伝導度(水の汚れの指標)や PH(酸性、アルカリ性の度合い)なども計測しました。

限られた時間でしたが、子どもたちは実際に川に入り、カニやトンボ、トビケラの幼虫などの水生 昆虫を採取、観察するという貴重な体験が出来ました。







展想 Impression

児童より Impression from Children

水は冷たかったけど、いろいろ調べたりするのは楽しかったです。

流れの速さは41.4秒(/10m)、水温は10度でした。また、水はとてもきれいでした。

水の透明度をみる実験がおもしろかったです。容器の底(1m)まで見えて、水がきれいで良かったと思います。

タモ網で魚を探しましたが、一匹もつかまえられなかのが残念です。

水が冷たくて足が痛くなりましたが、カニを2匹見ることができて良かったです。

学校より Impression from school

支援者の方には、何度も現地に下見に行っていただき、事前打合せにも来校いただけました。 また、当日も子どもたちに丁寧に教えていただき、本当に感謝しております。ただ、川の観察にもっと 時間が取れればよかったのですが、それだけが残念で、申し訳な〈思っています。

調節より Impression from lecturer

9月に上陸した2つの台風の影響で、谷筋が大きく荒れて、魚類の採集ができなかったことは残念でしたが、授業はほぼ事前の打合せどおりに進めることができました。

子どもたちは江賀谷の水の綺麗さや、石の下に住む水中生物を採集・観察することで、水の大切さや生物の持つ生命力を学べたのではないかと思います。